

⑥都市計画道路の整備状況

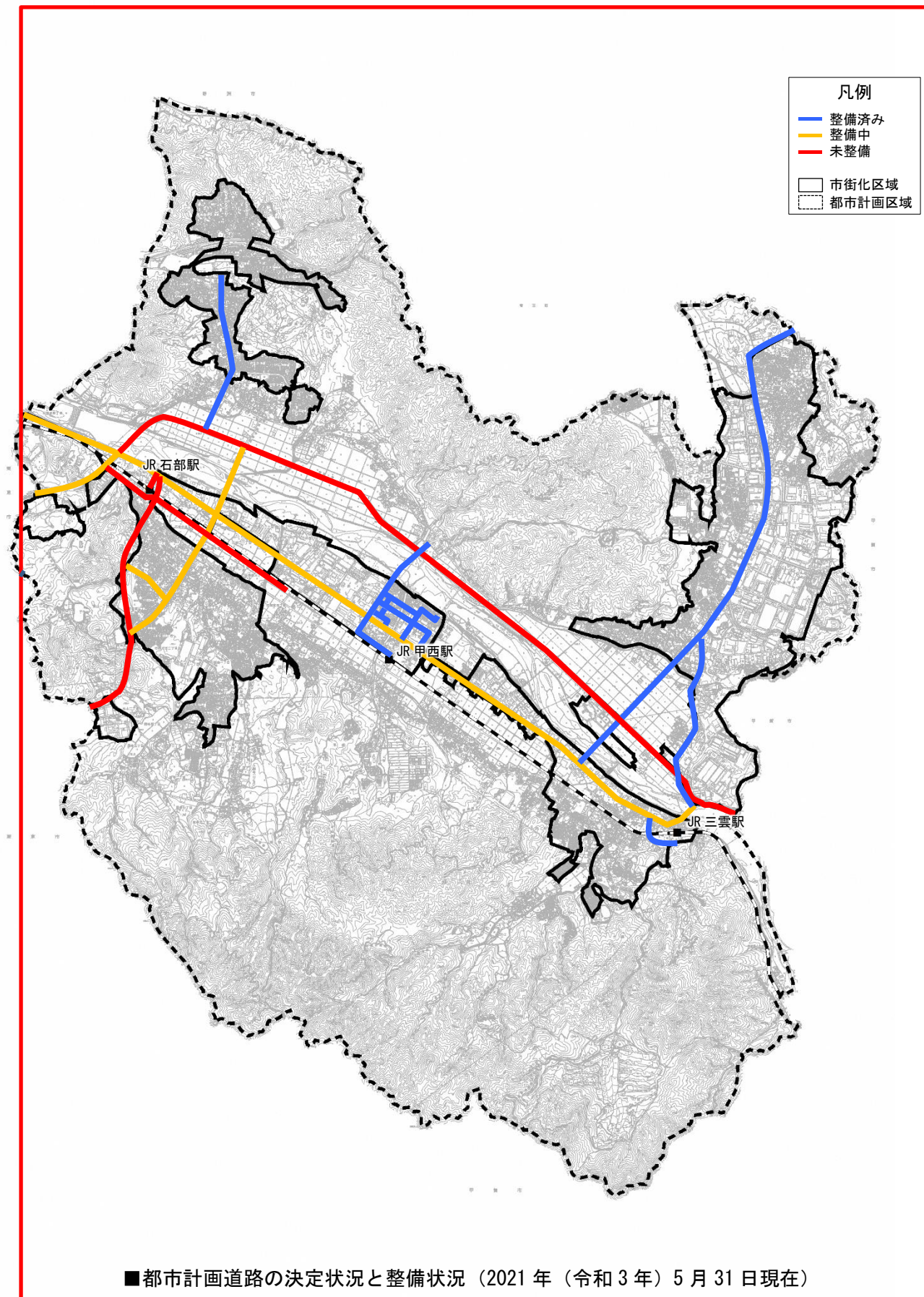
平成 26 年から令和 3 年に都市計画道路の整備状況を変更しました。

- ・都市計画道路は、滋賀県決定の幹線街路が 6 路線、市決定の幹線街路が 9 路線、市決定の特殊街路が 7 路線決定されています。
- ・幹線街路の整備率（（改良済＋概成済）/計画）は 62.2%に留まりますが、3・2・7 石部朝国線は 2 車線での整備が進められており、3・3・6 山手幹線との交差部までは通行可能となっています。
- ・石部地域では都市計画道路の大幅な見直しが行われていますが、残存する路線はほぼ未整備となっています。

■都市計画道路の決定状況及び整備状況（2021 年（令和 3 年）5 月 31 日現在）

	名 称		位 置		計画決定				整備状況		
	番号	路線名	起点	終点	延長	車線数	幅員	年月日	改良済延長	概成済延長	整備済延長
滋賀県決定	3・2・7	石部朝国線	湖南市石部	湖南市朝国	8,500	6 車線	36m	1986. 5. 19 2010. 3. 26	—	—	0
	3・3・6	山手幹線	大津市神領四丁目	湖南市石部	14,530	4 車線	22m	1972. 6. 20 2010. 3. 26	6,450	—	6,450
	3・4・7	逢坂山三雲線	大津市逢坂一丁目	湖南市朝国	28,400	2 車線	16m	1932. 10. 11 2012. 9. 28	4,870	20,530	25,400
	3・4・30	宝来坂菩提寺線	湖南市石部	湖南市菩提寺	2,340	2 車線	16m	1972. 6. 20 2009. 3. 2	—	370	370
	3・4・114	吉永下田線	湖南市吉永	湖南市下田	5,770	2 車線	20m	1962. 11. 19 2009. 3. 2	4,950	820	5,770
	3・4・115	菩提寺中央線	湖南市菩提寺	湖南市菩提寺	1,800	2 車線	16m	1973. 3. 18 2009. 3. 2	1,800	—	1,800
湖南市決定	3・4・29	丸山中島線	湖南市石部	湖南市石部	2,480	2 車線	18m	1972. 6. 20 1999. 11. 15	—	—	0
	3・4・89	出岩ヶ谷沖の前線	湖南市石部	湖南市石部	2,550	2 車線	16m	1972. 6. 20 1999. 11. 15	—	—	0
	3・4・107	上砥山丸山線	栗東市上砥山	湖南市丸山四丁目	610 (4,660)	2 車線	16m	1989. 4. 26 2012. 9. 28	—	—	0
	3・4・116	平松正福寺線	湖南市平松北	湖南市正福寺	1,820	2 車線	16m	1962. 11. 19 2009. 3. 2	1,820	—	1,820
	3・4・118	三雲駅線	湖南市三雲	湖南市三雲	600	2 車線	16m	2007. 2. 16 2009. 3. 2	600	—	600
	3・5・802	岡出線	湖南市岡出	湖南市石部中央三丁目	590	2 車線	12m	1972. 6. 20 2012. 9. 28	310	—	310
	3・5・805	朝国岩根線	湖南市朝国	湖南市岩根	2,070	2 車線	12m	1962. 11. 19 2009. 3. 2	2,070	—	2,070
	3・5・806	針平松線	湖南市中央一丁目	湖南市中央四丁目	800	2 車線	12m	1975. 11. 10 2009. 3. 2	800	—	800
	3・5・801	石原線	湖南市石部北二丁目	湖南市石部北二丁目	160	2 車線	9.5	2019. 11. 22	—	—	0
	8・7・801	古川石町線	湖南市中央二丁目	湖南市中央二丁目	220	—	4-10m	1975. 11. 10 2009. 3. 2	220	—	220
	8・7・802	大倉角田線	湖南市中央二丁目	湖南市中央二丁目	90	—	4m	1975. 11. 10 2009. 3. 2	90	—	90
	8・7・803	角田大吹線	湖南市中央四丁目	湖南市中央四丁目	100	—	4m	1975. 11. 10 2009. 3. 2	100	—	100
	8・7・804	長池大供線	湖南市中央四丁目	湖南市中央五丁目	450	—	4m	1975. 11. 10 2009. 3. 2	450	—	450
	8・7・805	講田西浜台線	湖南市中央五丁目	湖南市中央五丁目	580	—	4m	1975. 11. 10 2009. 3. 2	580	—	580
	8・7・806	三雲駅南北線	湖南市三雲字荒子	湖南市三雲字荒子	74	—	4m	2014. 4. 9	74	—	74
	8・7・807	石部駅南北線	湖南市石部北二丁目	湖南市石部北二丁目	80	—	3m	2019. 11. 22	—	—	0

平成 26 年から令和 3 年に都市計画道路の整備状況を変更しました。



(4) 都市施設

①行政施設、学校、文化施設

- ・行政サービス施設は、市役所は東庁舎と西庁舎があり、大半の部局は東庁舎に、教育部局は西庁舎に配置されています。また、市内各地域には、8つのまちづくりセンターが配置されています。
- ・文化施設は、市街化区域内には甲西・石部図書館や文化ホールその他、総合体育館、市民グラウンド、水戸体育館、田代ヶ池テニスコートがありますが、これら以外は市街化調整区域に立地しています。

前計画から、2021.10月時点で確認できた施設を補足しました。

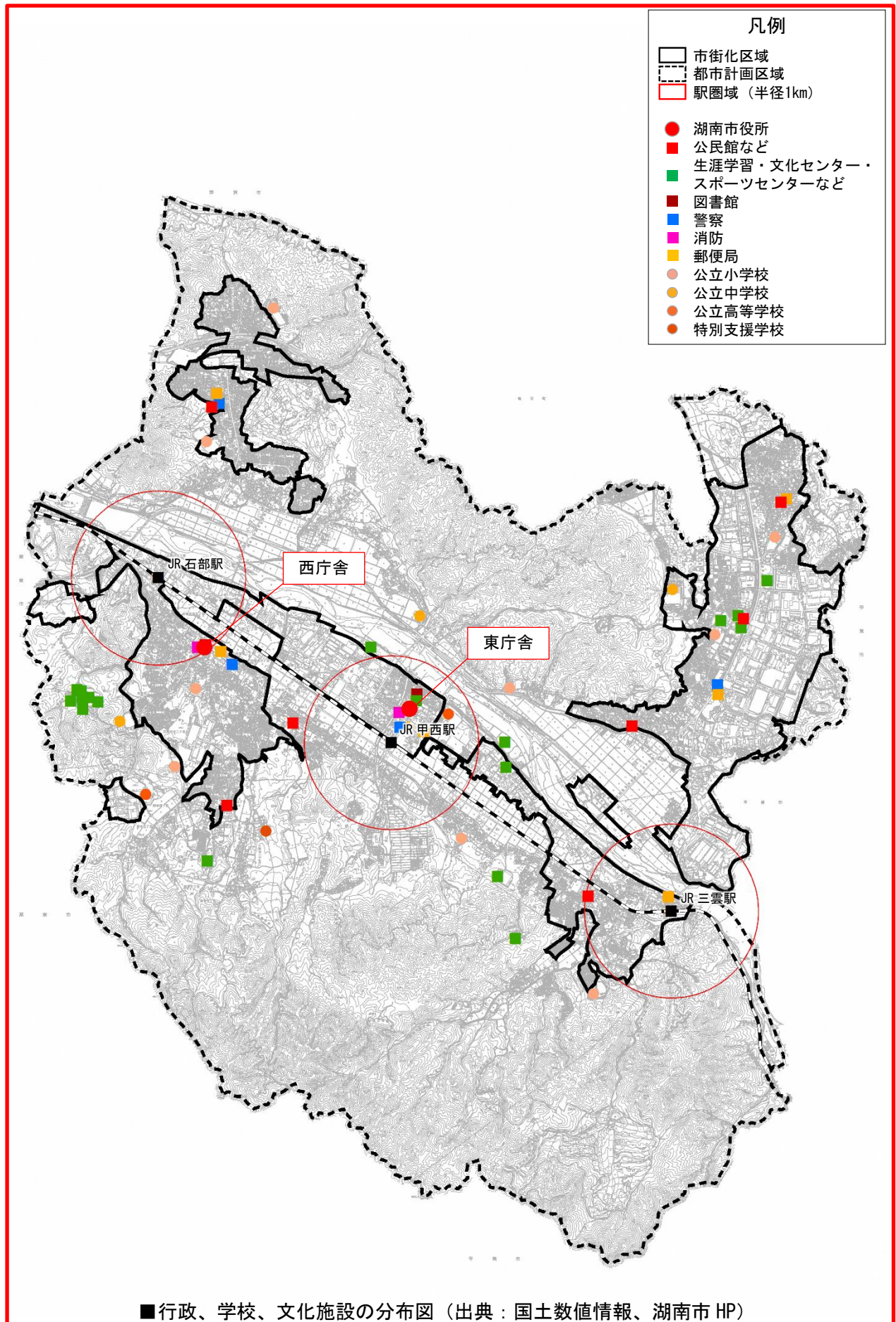
市役所	警察	消防	郵便局
湖南省役所東庁舎 湖南省役所西庁舎	甲賀警察署甲西駅前交番 甲賀警察署石部交番 甲賀警察署下田交番 甲賀警察署菩提寺駐在所	甲賀広域行政組合湖南中央消防署 甲賀広域行政組合湖南中央消防署石部分署	甲西郵便局 石部郵便局 甲西菩提寺郵便局 甲西下田郵便局 甲西三雲郵便局 甲西大池郵便局

公立小学校	公立中学校	公立高等学校	特別支援学校
下田小学校 岩根小学校 三雲小学校 三雲東小学校 水戸小学校 石部小学校 石部南小学校 菩提寺小学校 菩提寺北小学校	甲西中学校 甲西北中学校 石部中学校 日枝中学校	甲西高等学校 石部高等学校	三雲養護学校

生涯学習・文化センター・スポーツセンターなど	図書館	公民館など
東海道石部宿歴史民俗資料館 雨山体育館、雨山第二体育館、雨山ランニングコース、雨山ハイキングコース、雨山総合グラウンド、雨山テニスコート、雨山キャンプ場 野洲川運動公園 総合体育館 水戸体育館 市民グラウンド 総合スポーツ施設（サンビレッジ甲西） 田代ヶ池テニスコート 野洲川親水公園 じゅらくの里 石部文化ホール 甲西文化ホール 市民学習交流センター	湖南省立石部図書館 湖南省立甲西図書館	三雲まちづくりセンター 柑子袋まちづくりセンター 石部まちづくりセンター 石部南まちづくりセンター 岩根まちづくりセンター 菩提寺まちづくりセンター 下田まちづくりセンター 水戸まちづくりセンター

※各施設の分布は、国土数値情報を基に、2021.10月時点で補足

前計画から、2021.10月時点で確認できた施設を補足しました。



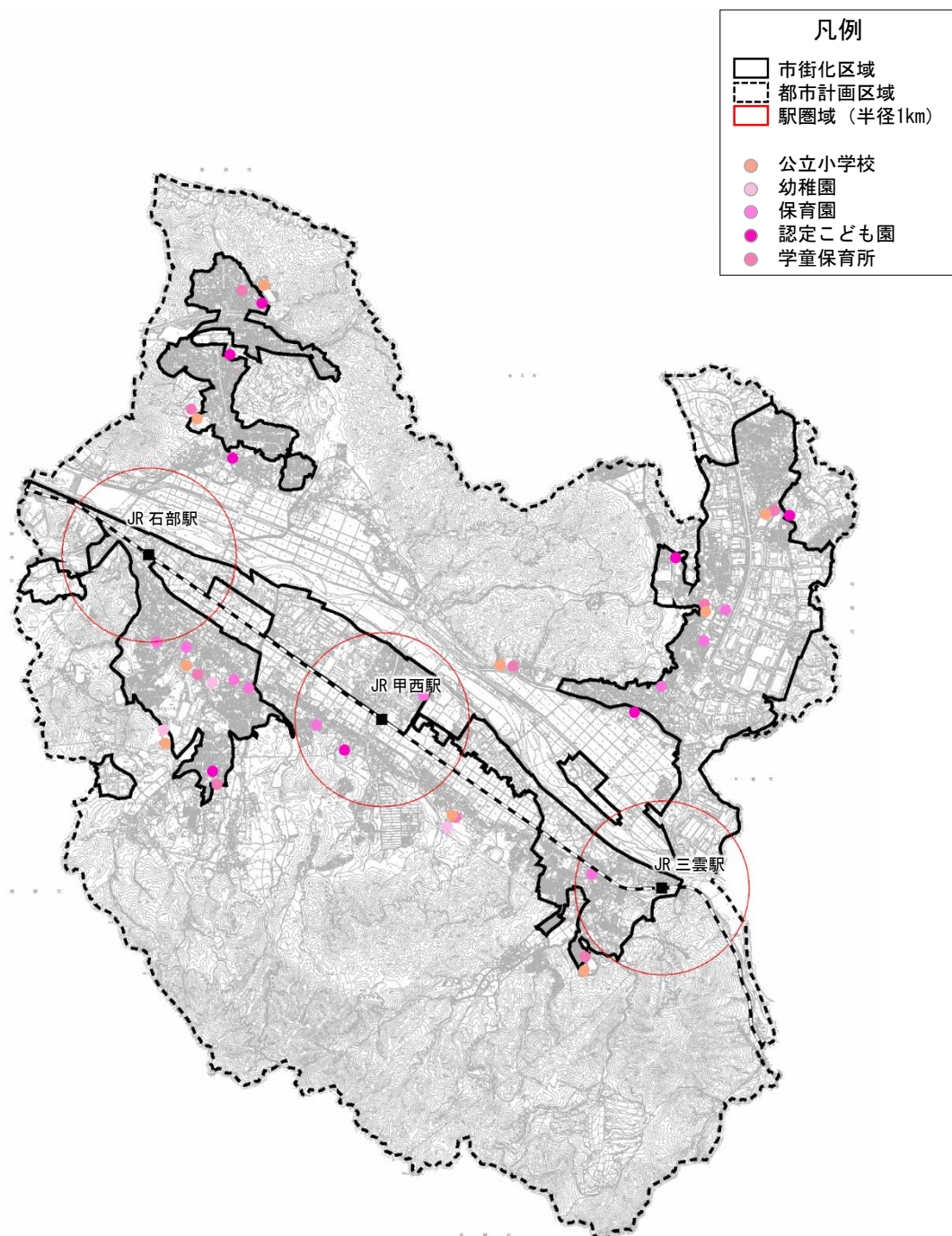
②子育て支援施設

- ・保育園をはじめとする子育て支援施設は、概ね市街化区域内に立地していますが、甲西駅周辺部では、市街化調整区域の東海道沿いに立地しています。
- ・学童保育所は、小学校付近に立地しています。

前計画から、2021.10月時点で確認できた施設を補足しました。

保育園	こども園	幼稚園	学童保育所
10 箇所	8 箇所	3 箇所	9 箇所

※各施設の分布は、国土数値情報を基に、2021.10月時点で補足



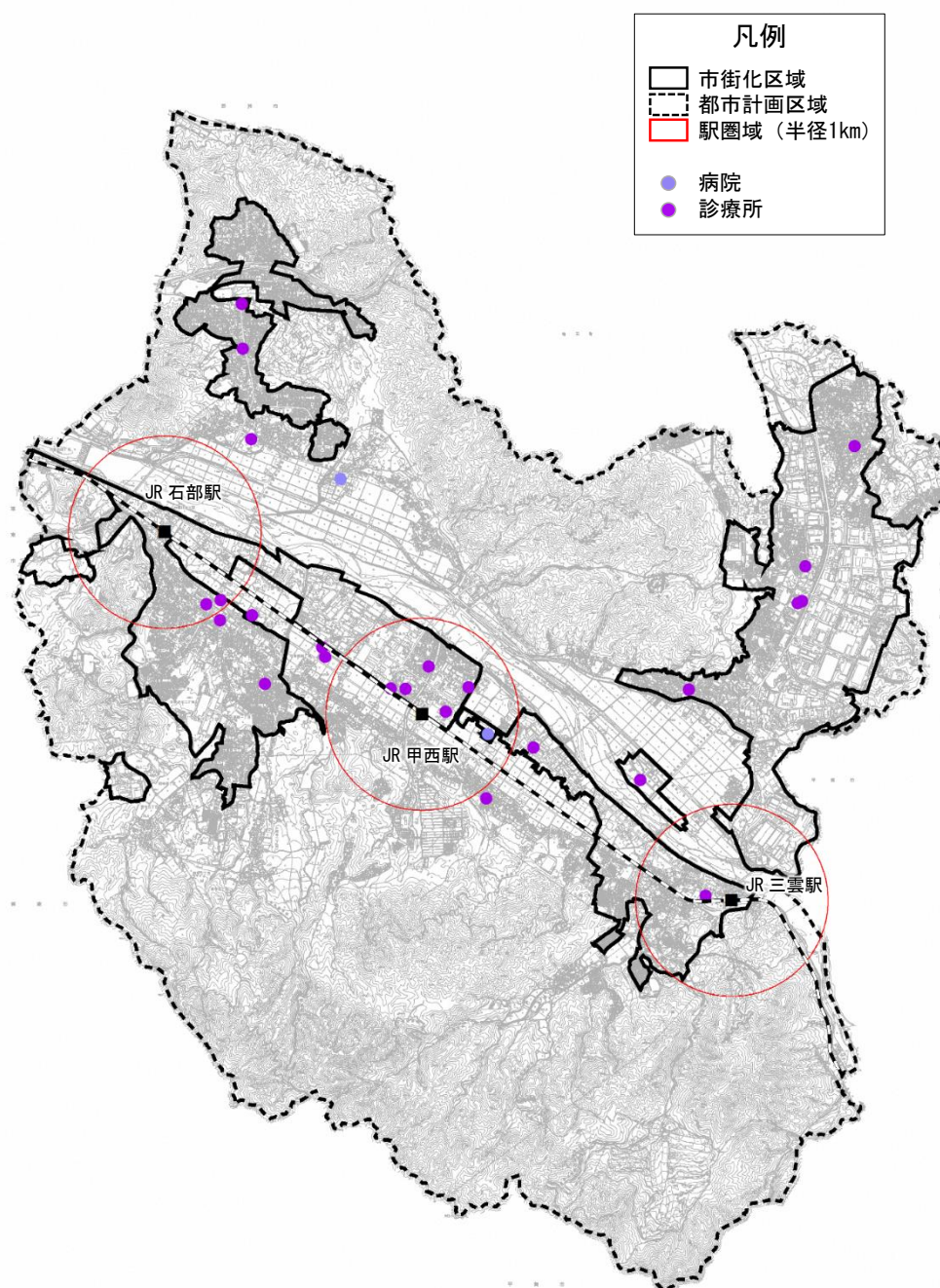
③医療施設

- ・医療施設は、甲西駅周辺～石部市街地にやや集積するほか、菩提寺、下田～岩根市街地、三雲駅周辺に点在しています。

前計画から、2021.10月時点で確認できた施設を補足しました。

病院	診療所
2箇所	24箇所

※各施設の分布は、国土数値情報を基に、2021.10月時点で補足



■医療施設の分布図（出典：国土数値情報、湖南市 HP 等）

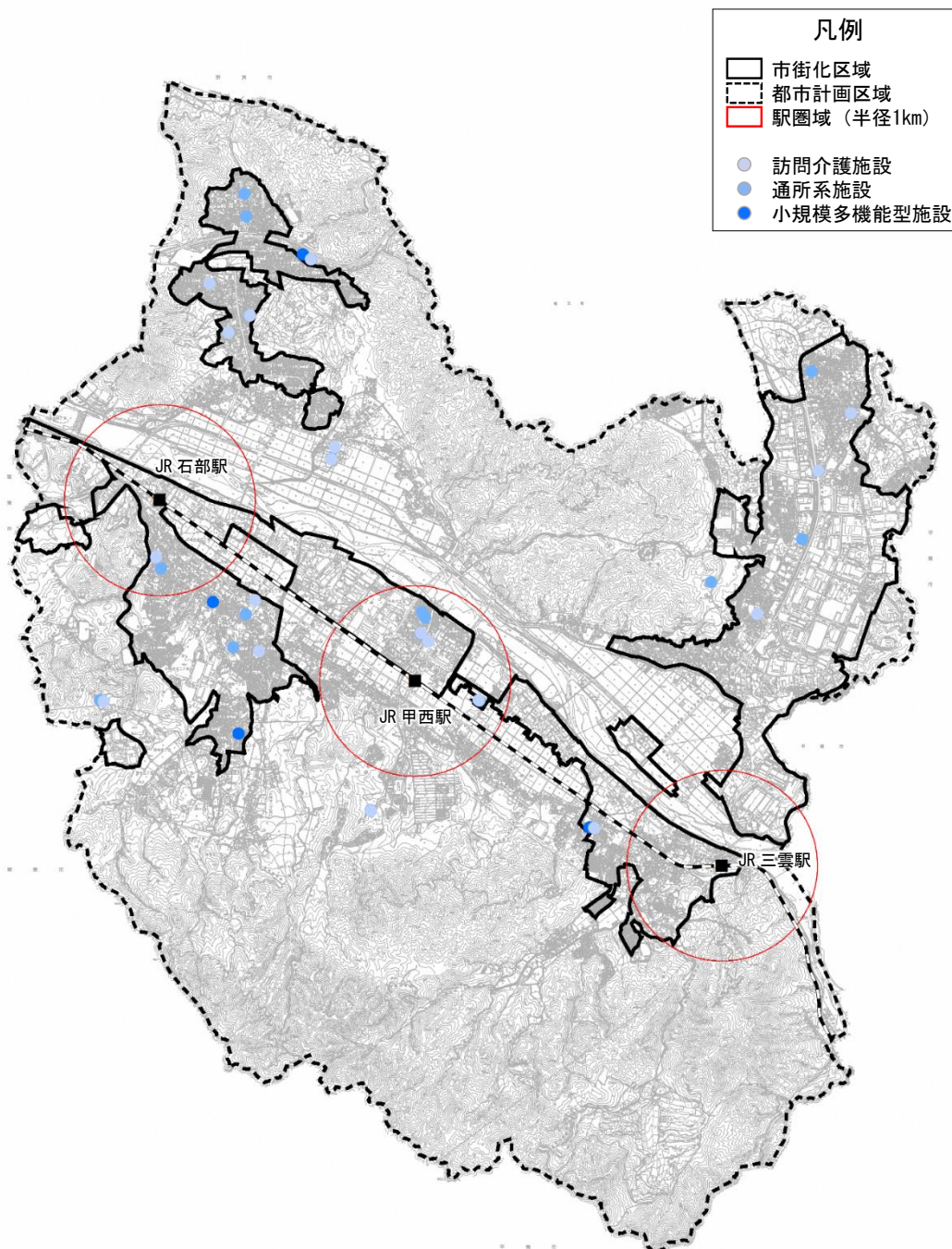
④高齢者福祉施設

- ・高齢者福祉施設は、比較的甲西駅周辺～石部市街地、菩提寺に集積しています。

前計画から、2021.10月時点で確認できた施設を補足しました。

通所系施設	小規模多機能型施設	訪問介護施設
19 箇所	4 箇所	18 箇所

※各施設の分布は、国土数値情報を基に、2021.10月時点で補足
 ※機能が重複する施設が多いため、代表的な機能で分類



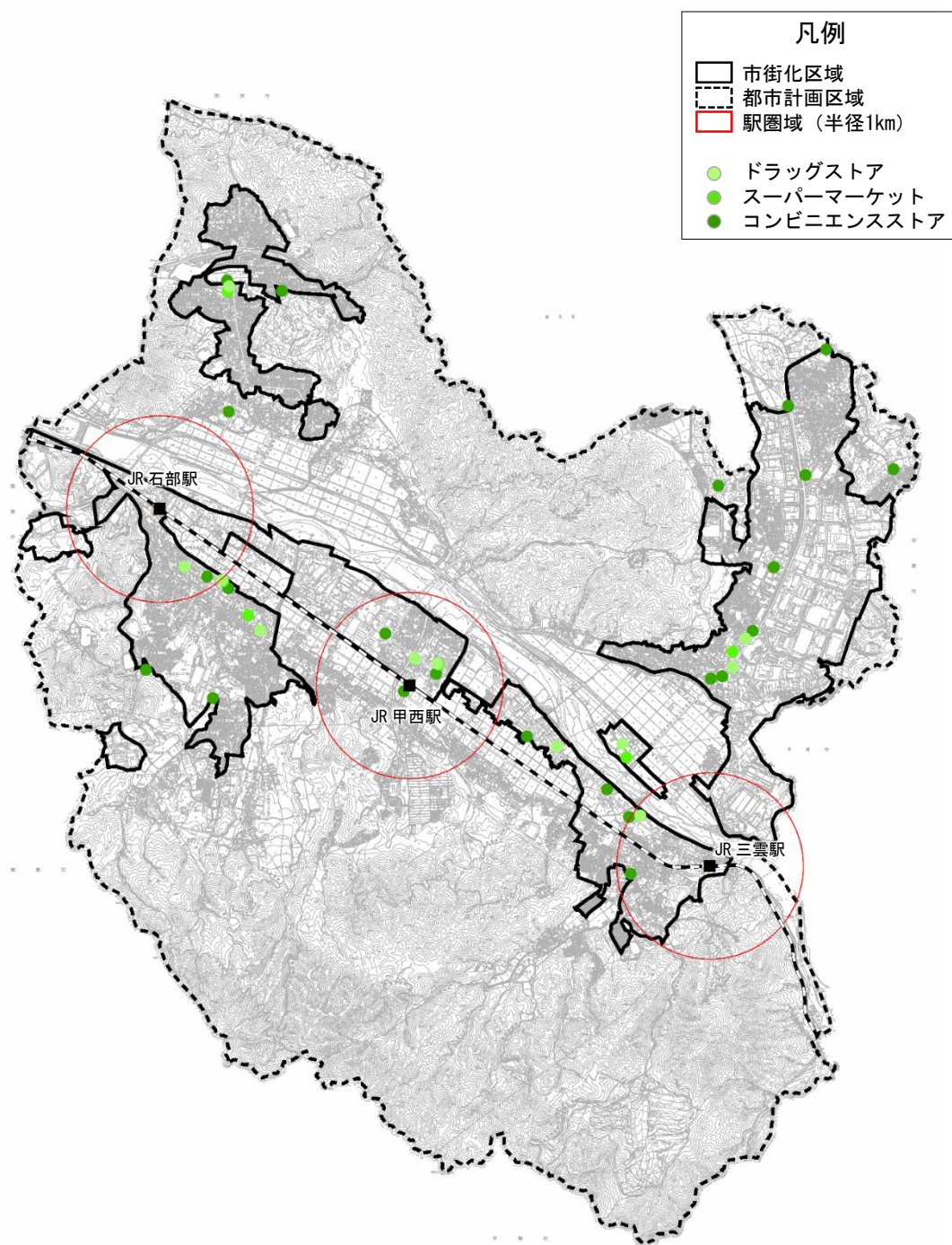
■高齢者福祉施設の分布図（出典：国土数値情報、厚生労働省 介護サービス情報公表システム）

⑤商業施設

- ・商業施設は、車利用での交通利便性の高い国道1号をはじめとする幹線道路沿道に立地しています。
- ・三雲駅周辺の市街地にはスーパーマーケットが立地していません。
前計画から、2021.10月時点で確認できた施設を補足しました。

スーパーマーケット	コンビニエンスストア	ドラッグストア
6箇所	23箇所	11箇所

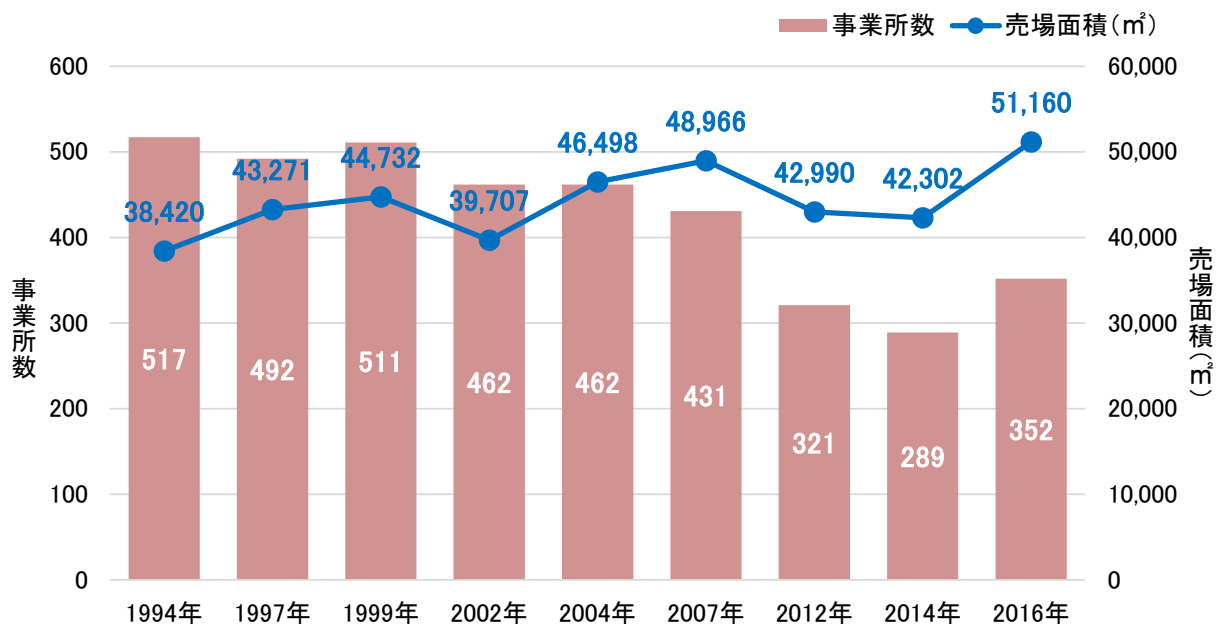
※各施設の分布は、国土数値情報を基に、2021.10月時点で補足



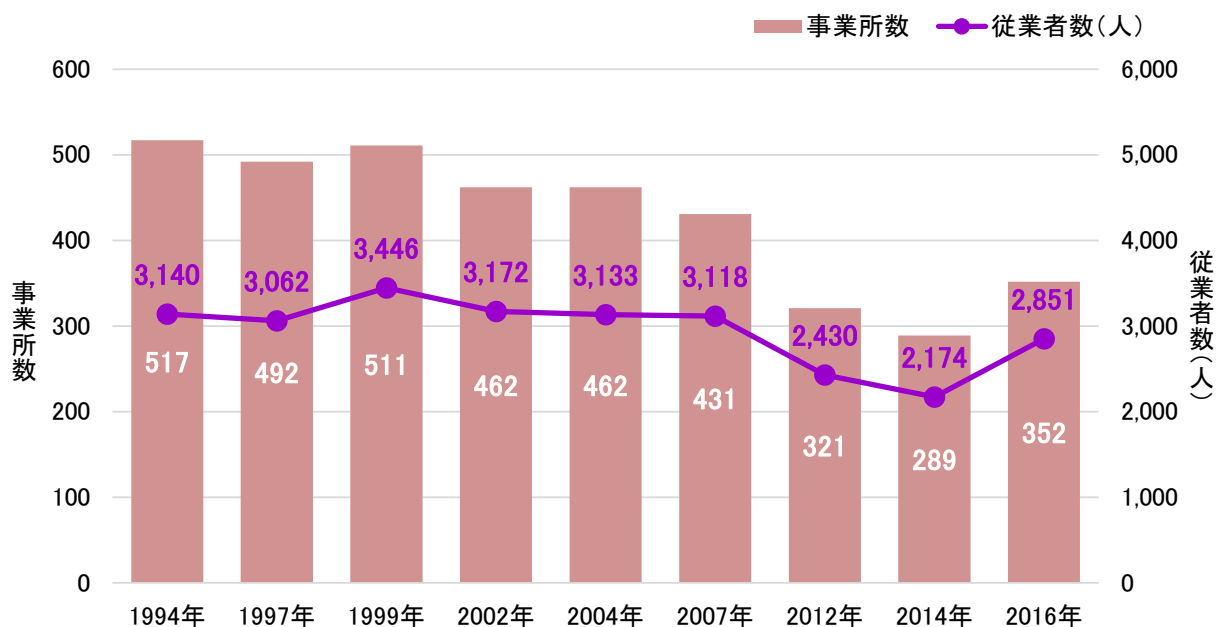
(5) 経済活動

2016年の経済センサスの結果を追加しました。

- ・市全体では、事業所数、従業員数、年間販売額ともに減少していましたが、近年は下げ止まりの傾向がみられ、2016年（平成28年）は2014年（平成26年）よりも増加しています。
- ・売場面積については、緩やかに増加する傾向にあります。

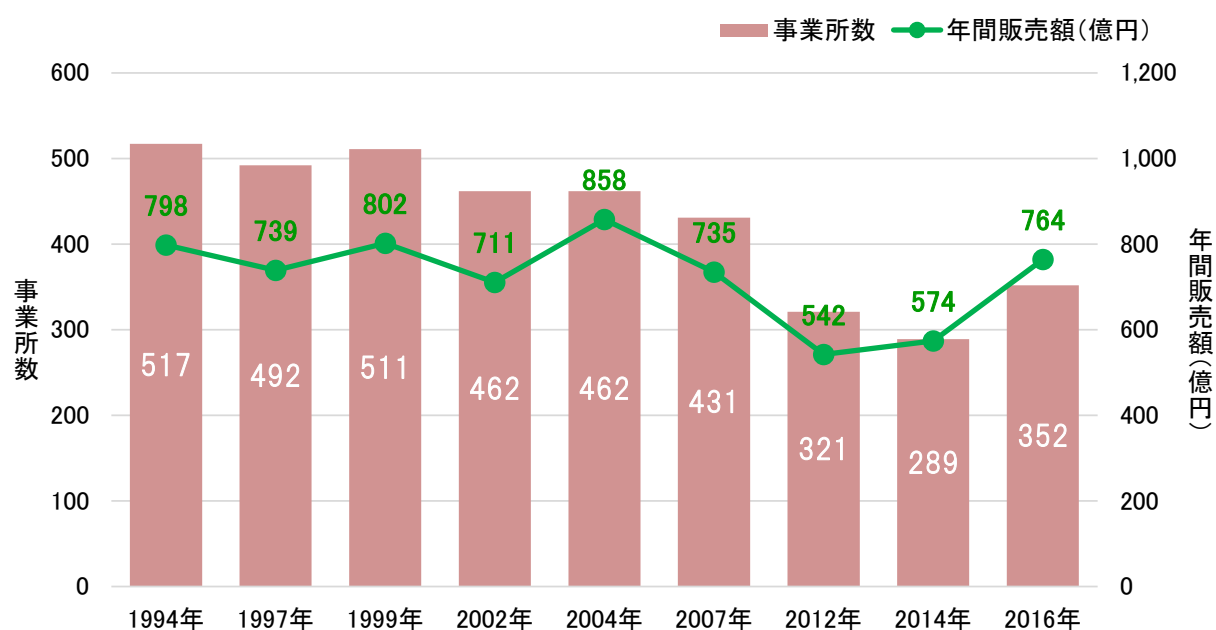


■事業所数と売場面積の推移（出典：商業統計調査（※2012年・2016年は経済センサス））

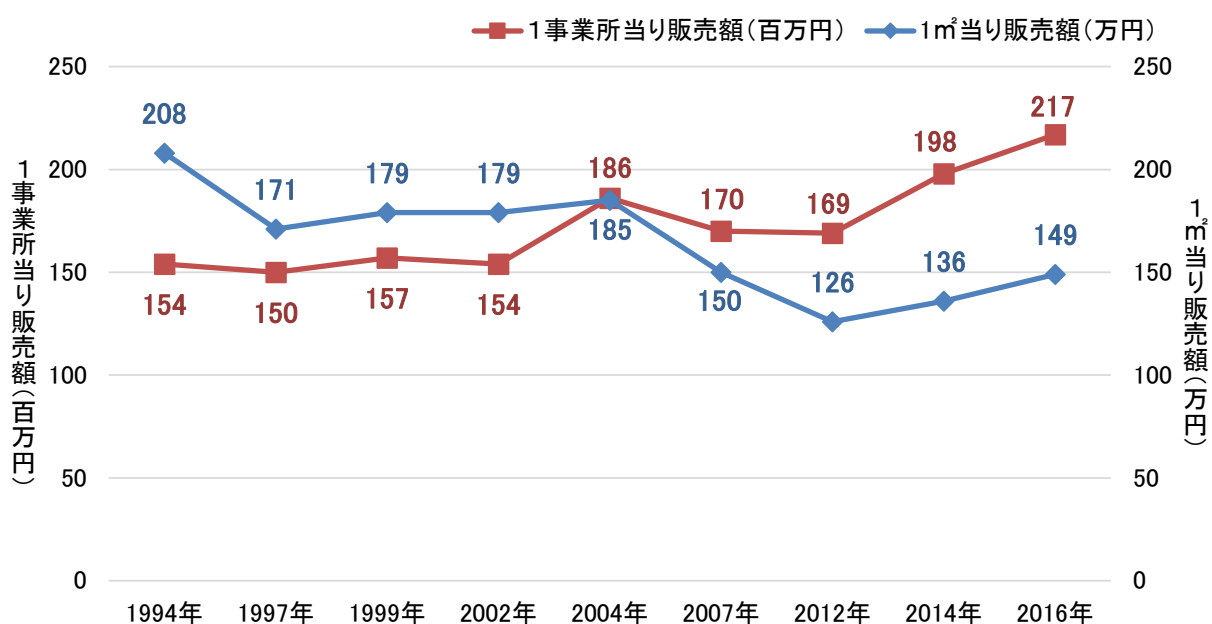


■事業所数と従業員数の推移（出典：商業統計調査（※2012年・2016年は経済センサス））

2016 年の経済センサスの結果を追加しました。



■事業所数と年間販売額の推移（出典：商業統計調査（※2012 年・2016 年は経済センサス））

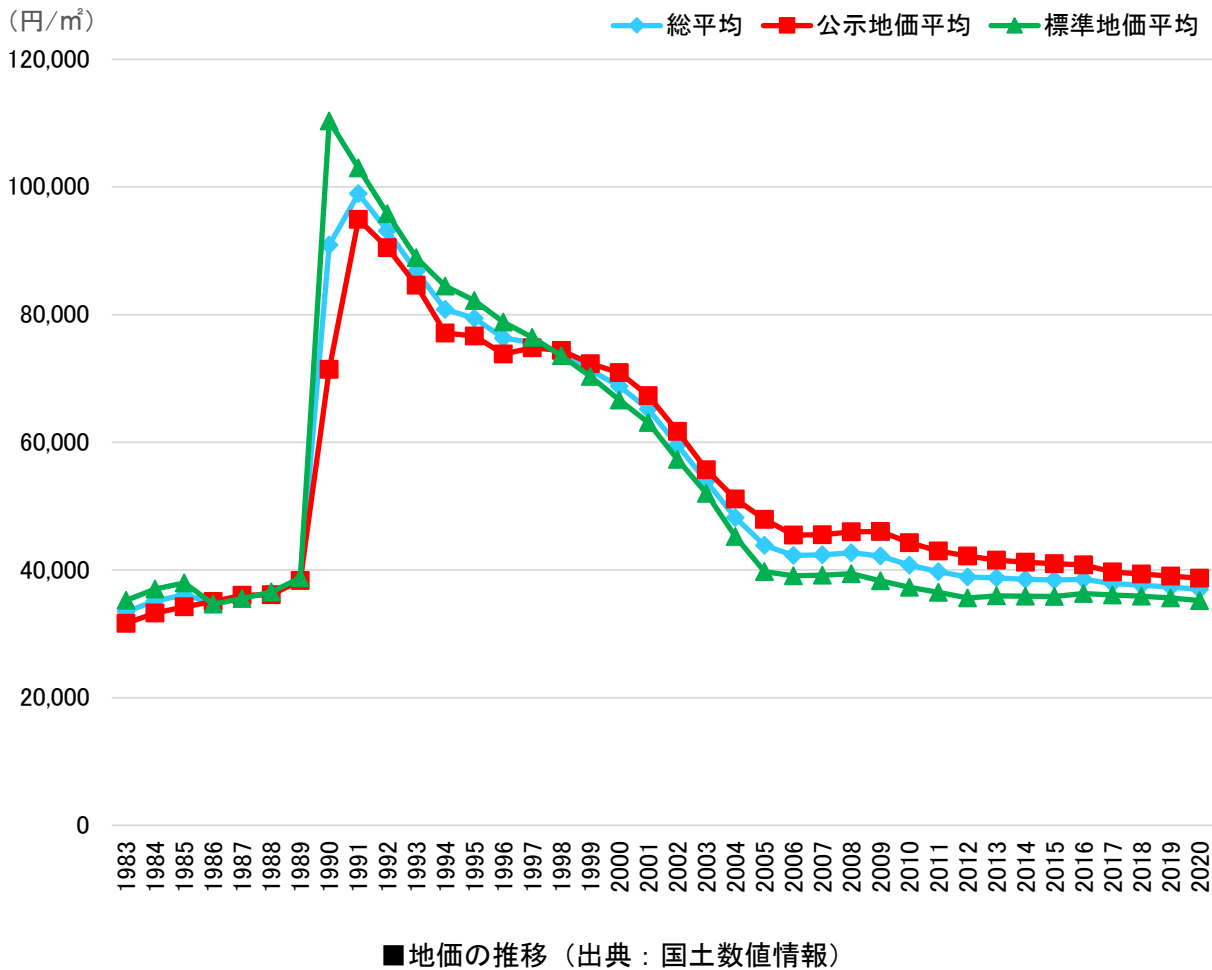


■単位当たりの販売額の推移（出典：商業統計調査（※2012 年・2016 年は経済センサス））

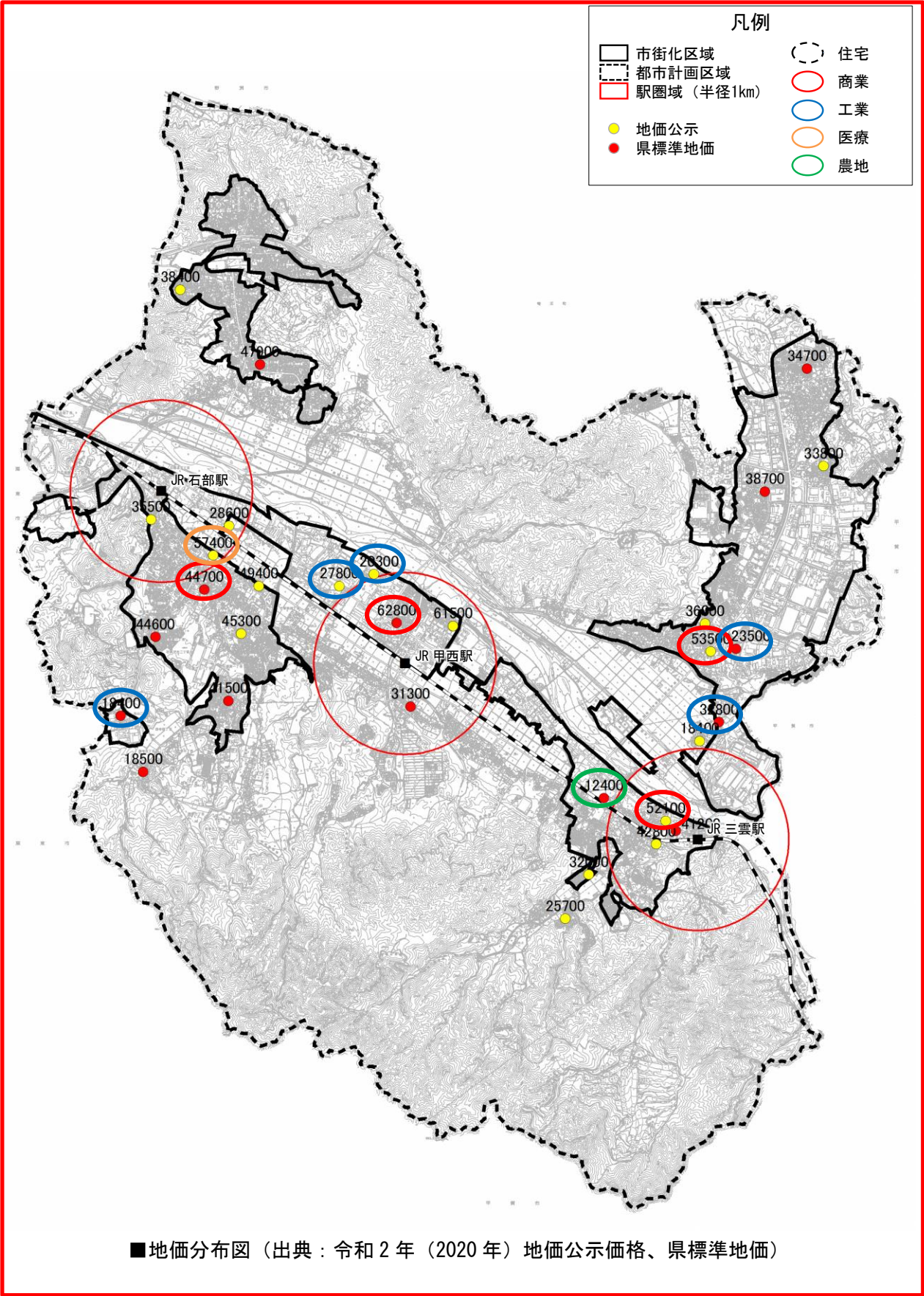
(6) 地価

2015 年～2020 年までの地価平均を追加しました。

- ・地価公示価格、県標準地価の総平均価格は、1991 年（平成 3 年）をピークに減少を続け、2005 年（平成 17 年）以降、ほぼ横ばいの状態が続いています。
- ・住宅地の地価は、市街化区域内では 40,000 円/㎡前後であり、駅への近接性は特に価格には影響していません。飛び市街地となる菩提寺では、甲西駅周辺や石部と同程度の価格となっていますが、下田では 40,000 円/㎡を下回る箇所も見られます。



2015 年の地価分布を 2020 年の地下分布に変更しました。

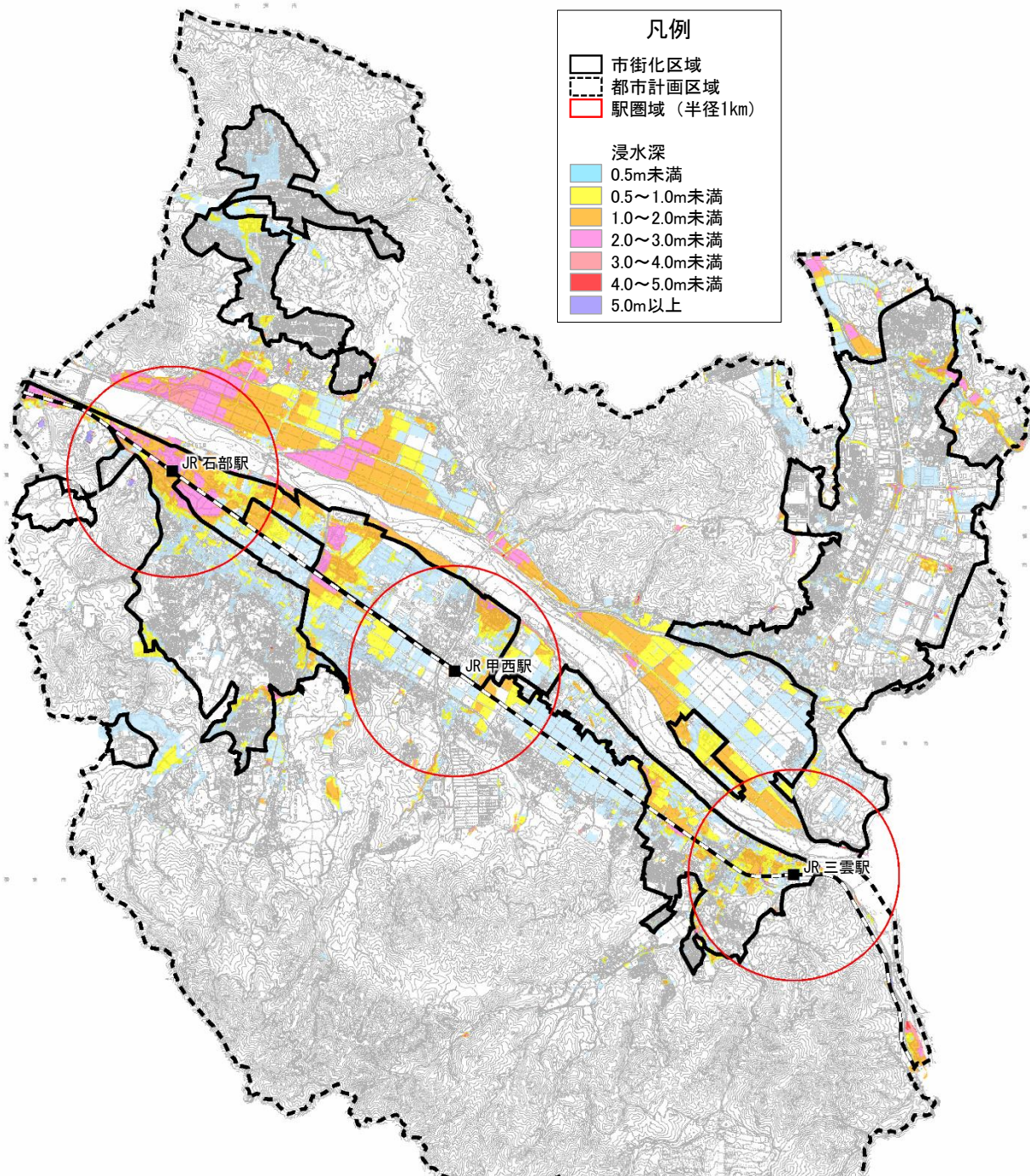


(7) 災害

① 浸水被害

2005 年 5 月 30 日指定の浸水想定区域を 2020 年 3 月 31 日公表の浸水想定区域に変更しました。

- ・ 2015 年（平成 27 年）に水防法が改正されましたが（浸水想定区域 1/100 年確率⇒1/1000 年確率）、ここでは従来の浸水想定区域 1/100 年確率をもとにしています。
- ・ これによると、野洲川左岸の石部駅付近や右岸の菩提寺南側付近に 2.0m を超える浸水区域が見られます。
- ・ 市街化区域内においても浸水想定深が 0.5m を超える地域が多くみられます。



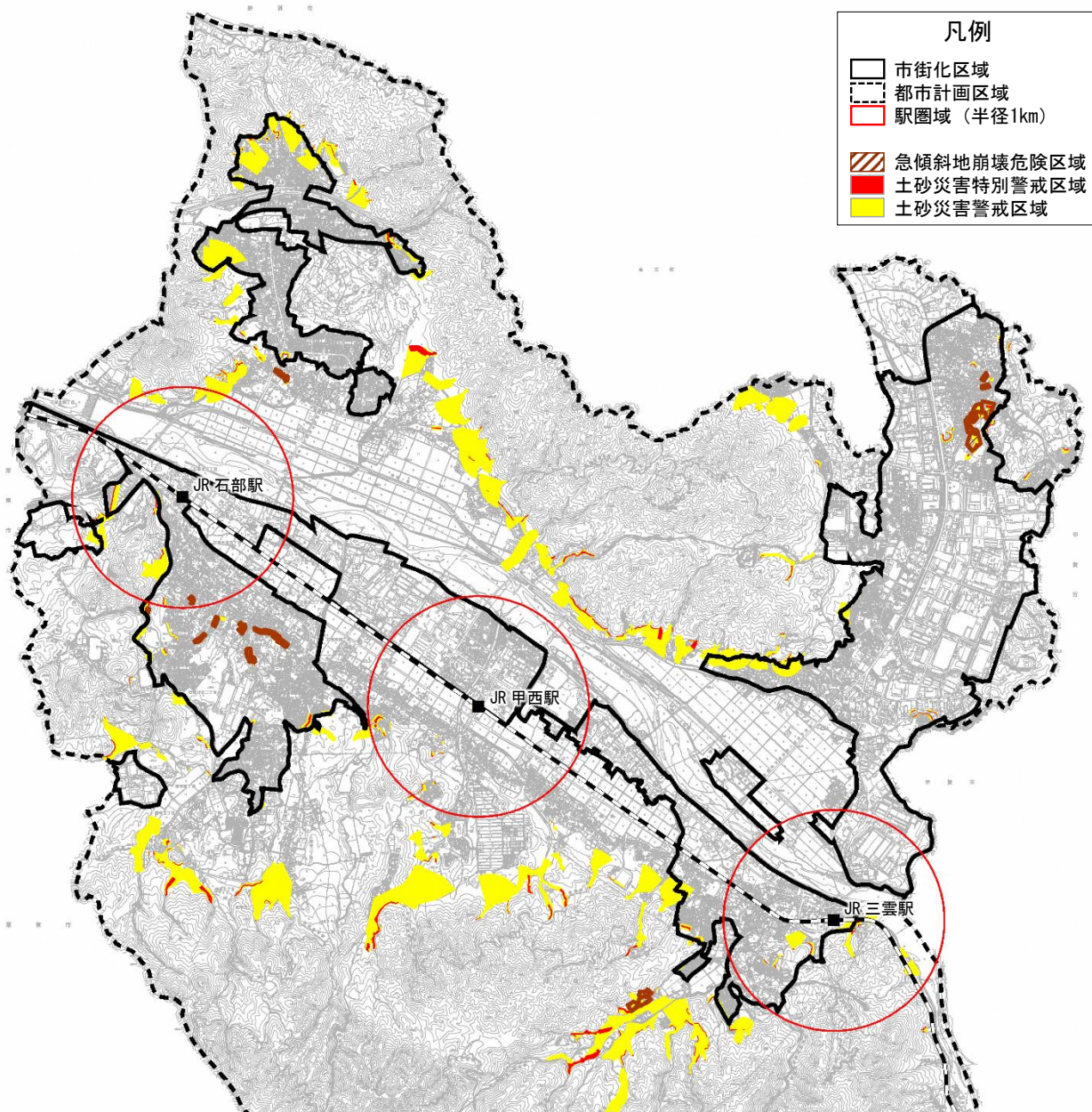
■ 浸水想定区域の状況（出典：滋賀県防災情報マップ（R02.03.31 公表））

※最大浸水深（100 年確率）：彦根地方気象台の観測データをもとに 100 年に一度の大雨（時間最大 109 mm 程度）が降った場合に想定される浸水深

2012 年 10 月 29 日指定の急傾斜地崩壊危険区域を 2020 年 5 月 29 日指定の急傾斜地崩壊危険区域に変更しました。
2016 年 3 月 30 日指定の土砂災害警戒区域を 2021 年 7 月 26 日指定の土砂災害警戒区域に変更しました。

②土砂災害

- ・市域の南北には山地丘陵地がありますが、市街化区域の大半は平坦部に指定されており、土砂災害警戒区域の指定はほとんどありません。
- ・ただし、菩提寺や岩根の一部においては、土砂災害警戒区域の指定が見られます。
- ・また、急傾斜地崩壊危険区域は、菩提寺や三雲、下田では土砂災害警戒区域と重なるように指定されているほか、石部では単独の指定も見られます。



■急傾斜地崩壊危険区域（出典：滋賀県防災情報マップ（R02.05.29 指定分まで））

■土砂災害（特別）警戒区域（出典：滋賀県防災情報マップ（第 112 次指定（R03.07.16）分まで））

※急傾斜地崩壊危険区域：崩壊する恐れのある急傾斜地で、その崩壊によって居住者等に危害が生ずるおそれがあるため、その崩壊が助長されないよう一定の行為を制限する必要がある土地で、知事が指定する土地の区域

土砂災害警戒区域：土砂災害が発生した場合に土石などが到達し、生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域

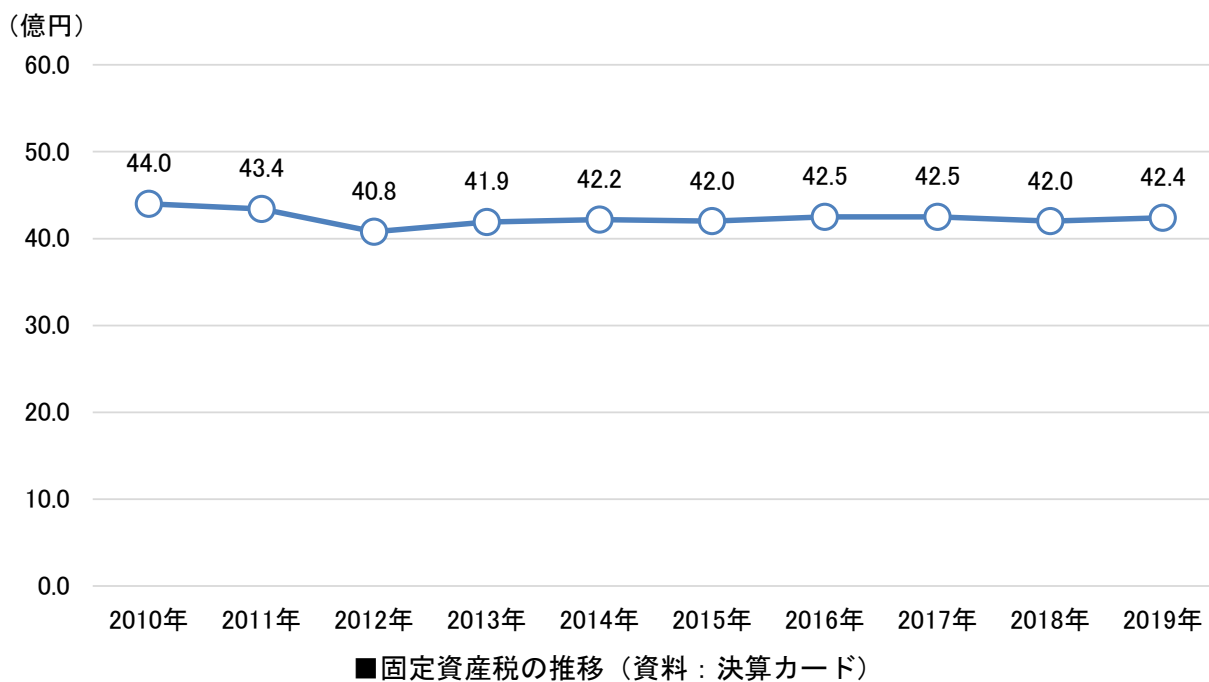
土砂災害特別警戒区域：土砂災害警戒区域のうち、土石などが建築物を損壊し、生命または身体に著しい危害が生ずるおそれが認められる土地の区域

(8) 財政

1999 年～2014 年の固定資産税の推移を 2010 年～2019 年の固定資産税の推移に変更しました。

①固定資産税・都市計画税収の状況

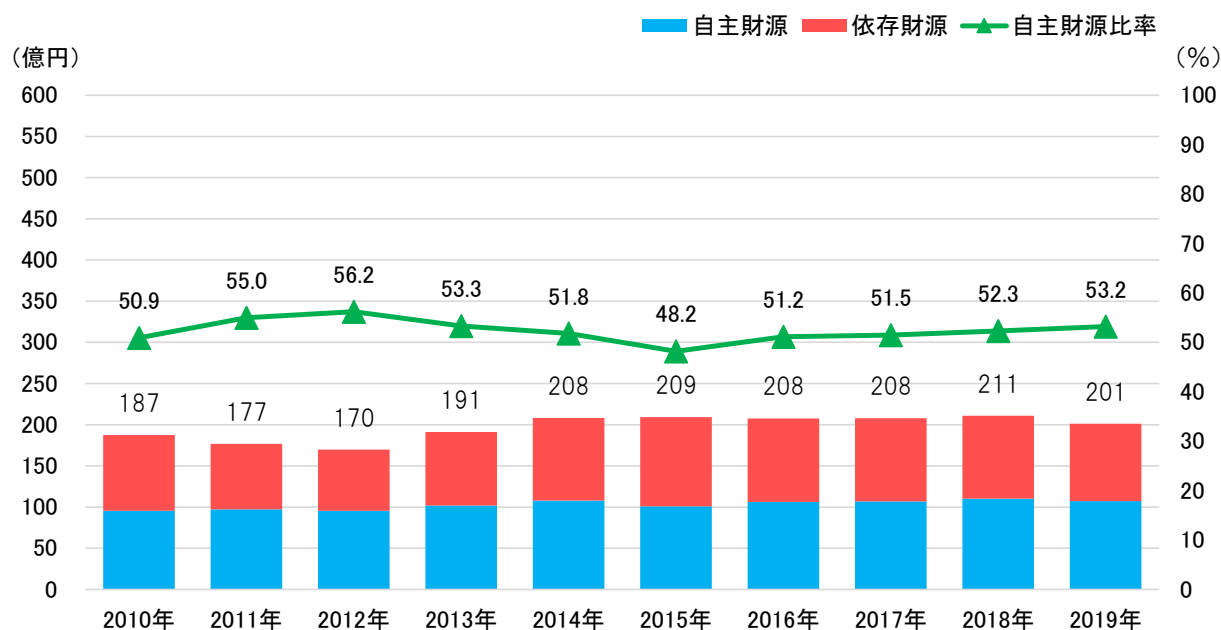
- ・固定資産税は、過去 10 年間ではほぼ横ばいの状況が続いており、2019 年（令和元年）時点で約 42.4 億円となっています。
- ・なお、本市では、都市計画税は徴収していません。



②歳入・歳出構造

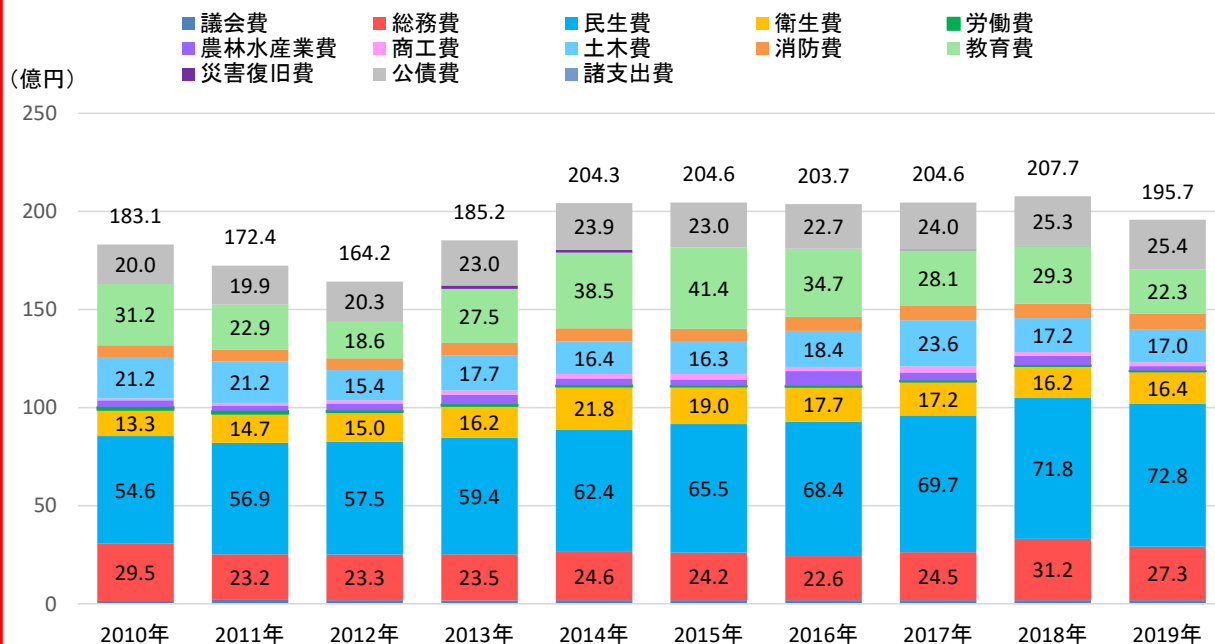
1999年～2014年の歳入・歳出構造の推移を
2010年～2019年の歳入・歳出構造の推移に変更しました。

- ・自主財源には大きな変動は見られませんが、依存財源がやや増加する傾向にあります。



■財源別の歳入の推移（資料：決算カード）

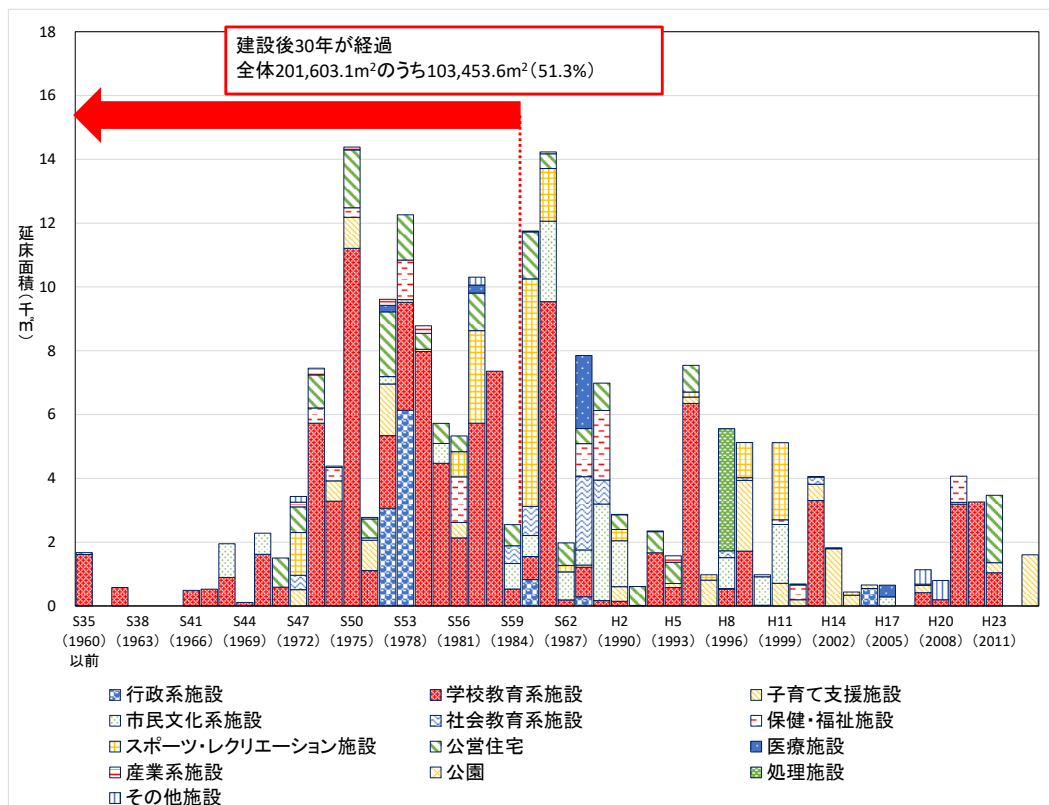
- ・土木費、教育費に多少の変動がみられますが、民生費が一貫して増加する傾向にあり、2010年（平成22年）には29.8%だった比率が2019年（令和元年）には37.2%にまで上昇しています。



■目的別の歳出の推移（資料：決算カード）

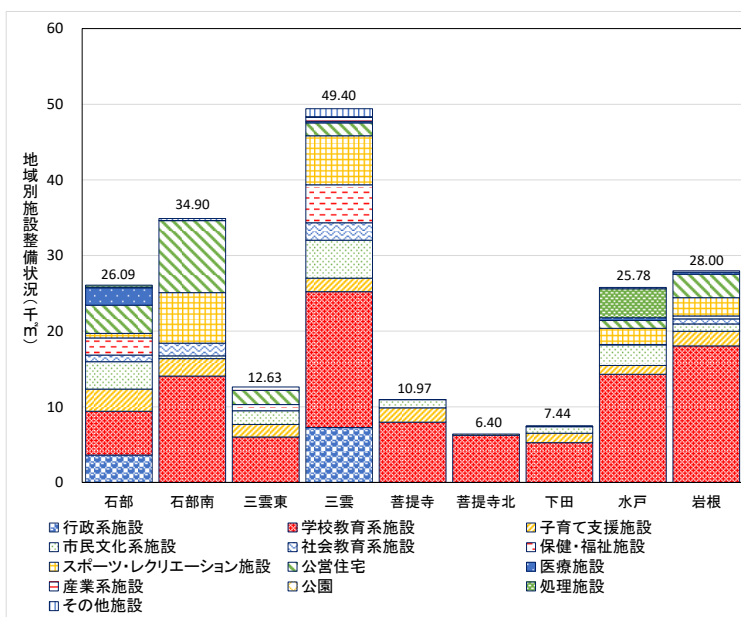
③整備年度別公共施設、インフラの状況

- ・昭和50年（1975年）代から平成元年（1989年）にかけて施設整備が大きく進み、延床面積をみると学校教育系施設がその大部分を占めています。
- ・全施設の延床面積合計20万1,603.1㎡のうち、51.3%に相当する10万3,453.6㎡が昭和59年（1984年）度までに整備されており、これらは建設後35年以上が経過しています。



■建設年度別に見た施設分類別延床面積（資料：湖南省公共施設白書（2015.3））

- ・地区別には、石部南では公営住宅、三雲では市民文化系施設、保健・福祉施設が多くみられます。



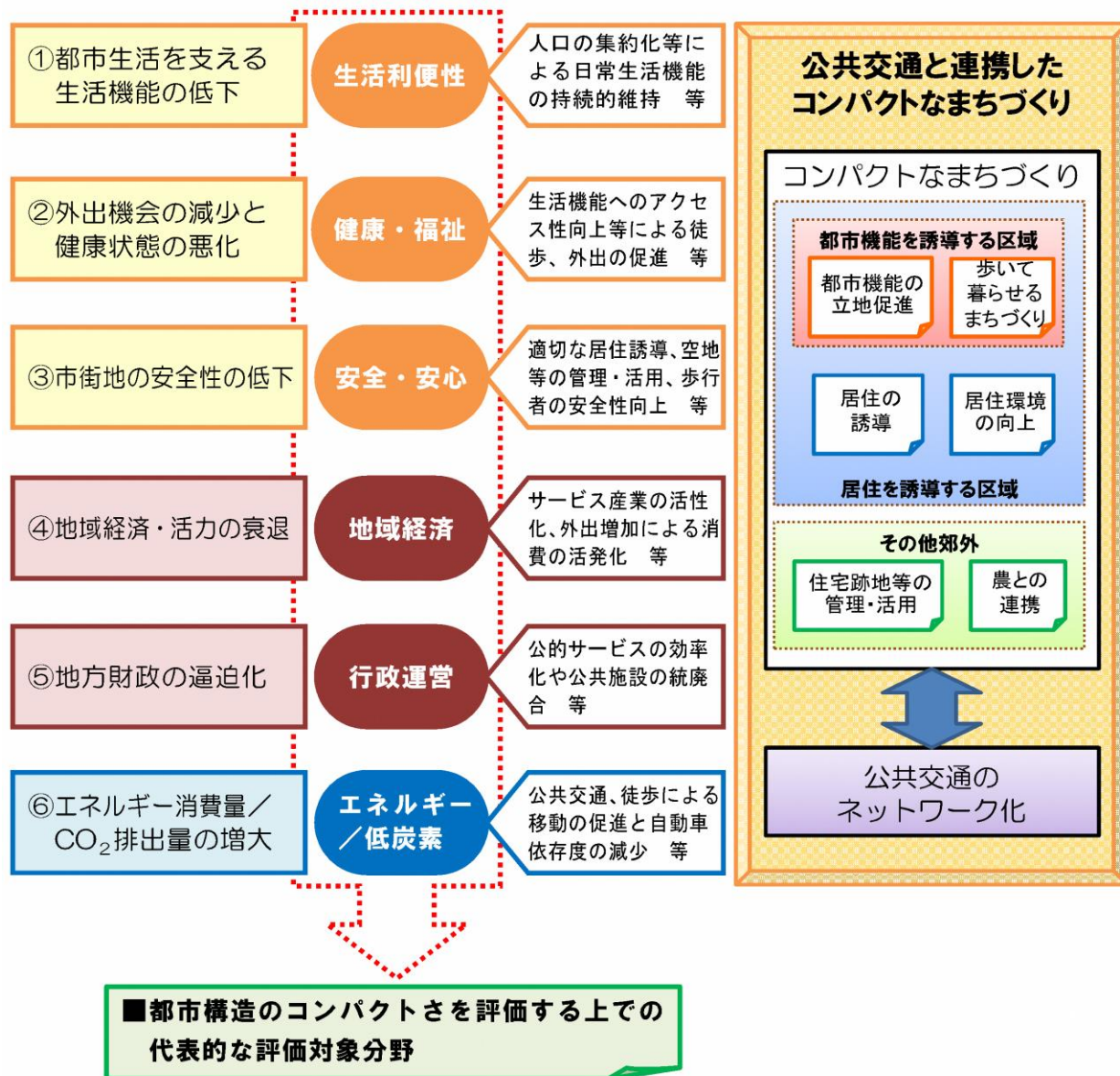
■地区別に見た施設分類別延床面積（資料：湖南省公共施設白書（2015.3））

(9) 都市構造の評価

- ・都市構造の評価に関するハンドブック（国土交通省都市局都市計画課 2014.8）に基づき、評価対象分野ごとの評価を行いました。

【密度低下に伴い懸念される影響】

【コンパクトなまちづくりと期待される効果】



(出典：都市構造の評価に関するハンドブック 国土交通省都市局都市計画課 2014.8)

- ・評価指標は、10 万人以下の都市の平均値が示され、本市の実態と比較することで評価が可能な以下の指標とします。

■湖南省の都市構造に係る評価項目

評価対象分野	評価指標	利用データ	算出方法
生活利便性	□公共交通利便性の高いエリアに存する住宅の割合	住宅・土地統計調査（2013） 都道府県編「最寄交通機関までの距離別住宅数」 2008 年から 2013 年に変更	市町村別の最寄交通機関までの距離別住宅数の総数に占める、駅まで1km圏内、もしくはバス停まで200m圏内の住宅数の割合
	□市民一人当たりの自動車総走行台キロ	道路交通センサス（2015） 2010 年から 2015 年に変更	乗用車の市区町村別自動車走行台キロ（台キロ/日）を都市の総人口で除して算出
健康・福祉	■高齢者徒歩圏に医療機関がない住宅の割合	住宅・土地統計調査（2013） 都道府県編「最寄医療機関までの距離別住宅数」 2008 年から 2013 年に変更	市町村別の最寄医療機関までの距離別住宅数の総数に占める500m以上の住宅数の割合
	□歩道整備率	道路交通センサス（2015） 2010 年から 2015 年に変更	歩道が設置された道路延長を一般道路実延長で除して算出
	■高齢者徒歩圏に公園がない住宅の割合	住宅・土地統計調査（2013） 都道府県編「最寄公園までの距離別住宅数」 2008 年から 2013 年に変更	市町村別の最寄公園までの距離別住宅数の総数に占める500m以上の住宅数の割合
安全・安心	■市民一人あたりの交通事故死亡者数	(財)交通事故総合分析センター 全国市区町村別交通事故死者数（2015） 2010 年から 2015 年に変更	1 万人あたり死者数
	■最寄り緊急避難場所までの平均距離	住宅・土地統計調査（2013） 都道府県編「最寄の緊急避難場所までの距離別住宅数」 2008 年から 2013 年に変更	最寄の緊急避難場所までの距離別住宅数に、距離帯の中間値を乗じた値を合計し、住宅総数で除して算出
	■空き家率	住宅・土地統計調査（2013） 2008 年から 2013 年に変更	空き家数（その他住宅）を住宅総数で除して算出
地域経済	■従業者一人当たり第三次産業売上高	経済センサス（2014） 第3次産業（電気・ガス、情報通信業、運輸業、金融業等の業務分類（F～R））の売上金額 2010 年から 2014 年に変更	第三次産業売上高を第三次産業従業者人口で除して算出
行政運営	□市民一人当たりの歳出額	統計で見る市区町村のすがた（2014）総務省 地方公共団体の主要財政指標一覧 「財政規模」 2012 年から 2014 年に変更	歳出決算総額を都市の総人口で除して算出
	□財政力指数	統計で見る市区町村のすがた（2014）総務省 地方公共団体の主要財政指標一覧 「財政力指数」 2012 年から 2014 年に変更	財政力指数
	■市民一人当たり税収額（個人市民税・固定資産税）	統計で見る市区町村のすがた（2014） 2010 年から 2014 年に変更 「市町村民税」、「固定資産税」	市町村民税及び固定資産税の総額を都市の総人口で除して算出
エネルギー/低炭素	■市民一人当たりの自動車 CO2 排出量	（自動車走行台キロ） 2015道路交通センサス（台キロあたりガソリン消費量）国土交通白書 2010 年から 2015 年に変更	小型車の自動車交通量（走行台キロ/日）に、実走行燃費を除して燃料消費量を求め、燃料別CO2排出係数（ガソリン）を乗じて、年換算してCO2排出量を算出

※ ■：項目の代表的な指標

□：■の指標を代替、または補完する参考資料

- ・本市では、生活利便性や行政運営、エネルギー/低炭素の項目で評価が高くなっています。
- ・公共交通の分担率は低いですが、公共交通利便性の高いエリアに立地する住宅の割合が高くなっています。
- ・市民一人当たりの自動車総走行台キロは地方都市（5～10万人）よりも短く、自動車交通に依存しつつも、移動距離がコンパクトとなっていることがわかります。

前頁の変更に伴いグラフを変更しました。

